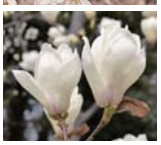
緑化樹配付事業

みんなで、植えよう、育てよう！

配付樹木の特性一覧

在来種　園芸品種

種別	名称	写真	鑑賞時期	常緑/落葉	特性	種別
高木	キンモクセイ		花:9月～10月	常緑	橙色の小さな花は、近くを通るだけですぐわかるほど、とても良い香りです。	
	サザンカ※		花:10月～3月	常緑	日陰や潮風、寒さに強い樹です。ツバキの花が丸ごと落ちるのに対し、サザンカは花びらが別々に散ります。	
	ヤマモモ		実:6～7月	常緑	雌雄異株で、実は雌樹にしか生りません。土壌を選ばず、乾燥、潮風に強く、甘酢っぱい実は、果実酒やジャムに向いています。	
	イロハモミジ		紅葉:11～12月	落葉	春の新芽のやわらかさ、夏の涼しげな緑、秋を彩る紅葉と、四季折々の姿を楽しめます。	
	コブシ		花:3～4月	落葉	春、芳香のある大きな白い花を咲かせます。乾燥に弱いので、根付くまでは水切れに注意が必要です。	
	サルスベリ		6～8月	落葉	夏の花の少ない時期に、長く花を楽しむことができます。花には、赤・白・ピンク・紫など様々な色があります。	
	セイヨウベニカナメモチ（レッドロビン）		葉:1～12月	常緑	紅色の新芽が美しく、生長が早くとても丈夫です。生垣として多く使われます。	
	ソメイヨシノ		花:3～4月	落葉	日本を代表する桜で、薄桃色の花は咲き始めから散るまで、楽しむことができます。	
	ハクモクレン		花:3～4月	落葉	春、若葉が芽吹く前に美しい白花が咲き、強い香りが特徴です。	
	ハナミズキ（白花・赤花）		花:4月～5月 実:9～10月 紅葉:11～12月	落葉	春に、たくさんの花を咲かせ、秋には、葉が紅葉します。赤い実は、鳥が好んで集まります。	
	ヤマザクラ		花:3月下旬 ～4月下旬	落葉	サクラの原種で、万葉の時代から、日本人に親しまれてきた樹です。白～淡紅白色の小ぶりな花が房状に楽しめます。	

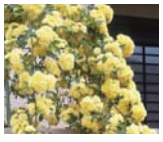
注1）花の色は選べません（ハナミズキを除く）。　注2）雄株、雌株は選べません。　注3）※の樹木は苗の流通状況により、園芸品種になります。

在来種を植えるメリット

もともとその地域に生育していた植物であることから、病虫害に強く、元気に育ちやすいというメリットがあります。
また、高木、低木、草本類などを組み合わせて植栽することで、多様な環境が生まれ、より昆虫や鳥などの動物も含めて、地域本来の生きものが生きていく環境を回復させるための取り組み(生物多様性の保全)にも繋がります。

配付樹木の特性一覧

在来種　園芸品種

種別	名称	写真	鑑賞時期	常緑/落葉	特性	種別
低木	アオキ		実:11～2月	常緑	とても丈夫で育てやすく、日陰でも育つ樹です。雌株は赤い実がなります。	在来種
	クチナシ※		花:6～7月	常緑	芳香のある白い花を咲かせます。	園芸品種
	サツキツツジ		花:5～6月	常緑	5月に咲くことから「皐月」の名があり、たくさんの花を咲かせます。	在来種
	シャリンバイ		花:5～6月	常緑	日陰にも耐え、乾燥にも強く、とても丈夫です。	在来種
	キンメツゲ		葉:1～12月	常緑	「イヌツゲ」の園芸品種で、新芽が黄金色になります。	園芸品種
	ヒラドツツジ		花:4～5月	常緑	「サツキツツジ」に比べ、大きな花を咲かせます。	園芸品種
	ユキヤナギ		花:3～4月	落葉	白い小さな花がたくさん枝につき、雪をかぶった柳のように見えることから名がつきました。	在来種
	アジサイ		花:6～7月	落葉	大きな房状に咲く花が特徴です。土壌によって、色の変化が楽しめます。	園芸品種
	カンツバキ		花:12～2月	常緑	冬の庭に彩りを添える花木のひとつです。	園芸品種
つる植物	キヅタ		葉:1～12月	常緑	日陰でも日向でもよく育ち、壁面緑化などに向いています。常緑なので年中葉が楽しめます。	在来種
	ナツヅタ		紅葉:11～12月	落葉	「キヅタ」と違い落葉つる性で、秋になると紅葉のグラデーションが楽しめます。	在来種
	ツキヌキニンドウ		花:6～9月	常緑	花は、鮮やかな色で、甘い香りも魅力の常緑のつる性植物です。	園芸品種
	テイカカズラ		花:5～6月	常緑	春に付ける白い花には芳香があり、秋には一部の葉が紅葉します。	在来種
	モッコウバラ		花:4～5月	半常緑	つる性のバラで、トゲはありません。花には香りある白と、香りがなく花つきの良い黄色があります。	園芸品種

注1）花の色は選べません（ハナミズキを除く）。　注2）雄株、雌株は選べません。　注3）※の樹木は苗の流通状況により、園芸品種になります。

大阪府　大阪府環境農林水産部 みどり推進室　みどり企画課 都市緑化グループ

編集協力・写真提供:
「庭木セレクトブック」積水ハウス株式会社　園芸研究家はたあきひろ